

放射性有機廃液焼却装置

新指針適合タイプ

昭和 54 年に放射性有機廃液の廃棄方法として「焼却炉において焼却すること」ができるようになって以来、当社の有機廃液焼却装置は優れた焼却能力と安定した操作性により、お客様から多大のご愛顧をいただいております。

平成 11 年 6 月に科学技術庁により新指針が通知され、3H, 14C, 32P, 35S, 45Ca に加えて 33P 等の焼却が可能となり、より利用の範囲が広がりました。また、同新指針においては、ダイオキシンの発生を抑制するための技術的事項が示されましたが、当社の装置はこの基準にも適合しており、安全かつ効率よくご利用いただけます。



< 特 徴 >

1 安全燃焼で安全性が抜群、燃焼性と安全性の追求

都市ガス、LPG 等（気体燃焼）を補助熱源とし、ガスバーナで補助燃料を自動点火し、炉内を設定温度に昇温後、自動的に廃液を定量ポンプで炉内に導入完全燃焼させます。排ガスは完全燃焼しますので無煙無臭です。炉内は、温度指示調節器で常に炉内温度を調節します。燃焼は、自動点火方式であり炎検出器を具備した米国の UL, FM 規格等の安全基準に基づいた燃焼安全装置が組込まれ、更に安全性確保のために 感震器 冷却水監視装置 逆火防止装置 過熱防止装置 焼却完了停止装置 排水高温監視検出器等が取付けられていますので安全です。

2 排ガスは低温

本装置内に設置されているサブマージド方式（当社特許製品）の冷却洗浄室において燃焼排ガスは低温（60 以下）となって排出されます。

3 操作は簡単、ボタン一つで自動運転・自動停止

全自動方式で起動ボタンを押すだけで全操作が自動的に運転され、廃液処理が終わると、焼却完了停止により自動停止します。当社の長年にわたる燃焼技術の経験を生かした装置であり、操作は非常に簡単かつ安全です。

4 故障が少ない効率（省エネルギー）の追求

特殊耐火断熱材を使用していますので昇温、冷却時間が短く省エネルギー時代に適した効率の良い焼却装置です。また、オプション機構として熱交換器をつけることにより、冷却水の量を極力抑えることができます。

5 多種類の廃液処理に最適、保守管理も簡単

多種類の液シン廃液混合物、多量の水分を含む廃液も焼却可能であり、焼却炉内で廃液は完全燃焼されますので、炉内は常に清浄な状態を保ち、構造も簡単で保守管理も容易です。

< 標準仕様 >

型 式		FRB - 10S	FRB - 20S	FRB - 30S
廃液処理量	/hr	1	2	3
タンク容量		6	12	18
燃 焼 方 式	補助燃料による強制燃焼 (都市ガス、LPG 等)			
点 火 方 式	自動点火方式 (全自動燃焼安全制御付)			
間 口	mm	930	980	1150
奥 行		670	700	800
高 さ		1560	1760	1800
重 量	kg	350	400	450
供 給 電 源	AC100V 又は、200V - 30A - 50 / 60 Hz			
消 費 電 力	KW	0.6 / 0.8		
排 気 量	m3/hr	42	60	90
廃液ポンプ	/hr	可変型 0.2 ~ 1.5	可変型 0.3 ~ 3.0	可変型 0.6 ~ 6
冷 却 水 量	/hr	400	600	800
温 度 調 節 器	センサー : R 熱電対、制御動作 (ON-OFF) + (ON-OFF)			
過 熱 防 止 器	センサー : R 熱電対、制御動作 (ON-OFF)			
感 震 器	100 ~ 170 ガル (震度 5 相当) にて作動			
冷 却 水 検 出 器	水圧 : 0.1kg/cm ² にて検出			
空 気 量 検 出 器	風圧 : 0.5kpa にて検出			
廃 液 安 全 弁	設定背圧 : 0.6kg/cm ² (逆火防止用)			
廃 液 詰 り 検 出 器	圧力検出式			
廃 液 スト レ ナ ー	40 メッシュ、SUS 製			
廃 液 残 量 検 出 器	圧力検出式			
炉 内 圧 力 検 出 器		-	0 ~ 5kpa	